

小豆島・豊島  
観光ガイド  
ブック

トリップキーワード



# Trip Keyword

小豆島・豊島

しょうどしま てしま  
小豆島と豊島の  
いいモノ・いいところを  
キーワードで  
ご紹介 

海と心が風いでいく、私の旅を開く鍵

本格的な日本のオリーブ栽培は、1908年の小豆島からはじまりました。オリーブオイルはもちろんのこと、塩蔵や葉を使ったお茶、化粧品やオリーブ染め、また近年ではオリーブハマチや小豆島オリーブ牛の飼料など様々な形で活用されています。

小豆島オリーブ牛 →P.12

百年を超えて愛される  
小豆島のオリーブ

オリーブは5月下旬から6月上旬にかけて枝いっばいに小さな白い花を咲かせた後、グリーンの実を結び大きく成長します。実った果実は9月中旬から12月にかけて一粒ずつ手作業で丁寧に収穫されます。



果肉から採油されるオリーブオイルは、品種や収穫時期により多様な味や香りがあり、健康や美容に良く、幅広い用途から植物油の女王と呼ばれています。



道の駅 小豆島オリーブ公園 小豆島町西村

海岸沿いの道から山手側に少し登った所にある道の駅 小豆島オリーブ公園は、約2,000本のオリーブや約120種類のハーブが栽培されており、映画のロケセットを移設した雑貨コリコや温泉施設、お土産物売り場など1日楽しめる複合施設です。ギリシャ風車のある芝生広場からは、陽光にきらめく海をゆったりと眺めたり、映画の主人公になりきって写真撮影を楽しんだりすることができます。



TripKeyword 小豆島・豊島

小豆島・豊島ってこんな島！ 魅力がぎゅっと、詰まっています。

Index

- 01 オリーブ  
**Olive**  
→P.02
- 02 観光名所  
**Spot**  
→P.03
- 03 アート作品  
**Art**  
→P.05
- 04 絶景スポット  
**View**  
→P.07
- 05 タイムスリップ  
**Time Slip**  
→P.09
- 06 パワースポット  
**Power Spot**  
→P.10
- 07 島の名産品  
**Food**  
→P.11
- 08 伝統行事  
**Event**  
→P.13
- 09 島の未来へ  
**SDGs**  
→P.14



私の旅は、どこから始める？

豊かな自然と温暖な気候に恵まれた小豆島は、いたるところにオリーブ畑が広がるのどかな風景があり、その一方で寒霞渓などダイナミックな渓谷の景色も観ることができます。また、小説家壺井栄の故郷でもあり、ノスタルジックあふれるまち並みも残っています。2010年から始まった瀬戸内国際芸術祭で盛り上がり、たくさんのアートが島に生まれました。癒し、歴史、アート……様々な側面=旅のキーワードがある小豆島では、人々が思い思いに過ごせます。



## エンジェルロード (天使の散歩道)

土庄町 本町

「大切な人と訪れ、手をつないで渡ると二人の間に天使が舞い降り、願いを叶えてくれる」と言われてるエンジェルロード。潮の満ち引きで道が現れたり消えたりして、引き潮の時は向かいの中余島まで渡ることができます。今では人気の観光スポットとして多くの人々が訪れるロマンチックなスポットです。



写真：鈴木研一

## 豊島美術館

土庄町 豊島

豊島唐櫃の小高い丘に建設された豊島美術館。広さ約40×60m、最高高さ4.3mの空間に柱が1本もないコンクリート・シェル構造で、天井にある2箇所の開口部から、周囲の風、音、光を内部に直接取り込み、自然と建物が呼応する有機的な空間です。内部空間では、一日を通して泉が誕生します。その風景は、季節の移り変わりや時間の流れとともに、無限の表情を伝えます。

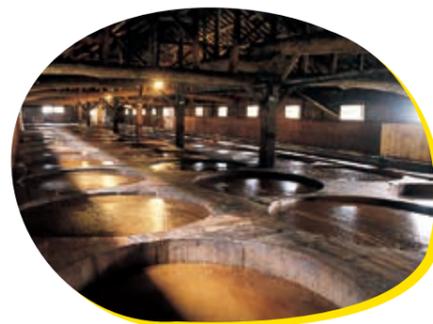
## 醬の郷

小豆島町 苗羽・馬木

香ばしい醤油の香り漂う醬の郷。小豆島町苗羽・馬木地区周辺には今も昔ながらの醤油・佃煮工場が軒を連ねています。工場見学や体験のできる場所もあります。



醤油・佃煮 →P.11



焼杉板の壁が続く、伝統的なまち並み



## 迷路のまち

土庄町 本町

一説には瀬戸内海に居た海賊から町を守るために迷路のように作られたと言われる道は、旅人の情緒を誘います。昔ながらのまち並みが残る入り組んだ道。どこか懐かしく風情あるまち並みは温かさを感じます。

大石先生と子どもたち



## 平和の群像

土庄町 土庄港

小豆島の海の玄関口・土庄港に立つ平和の群像。不朽の名作・二十四の瞳のブロンズ像です。平和と幸せへの永遠の願いを込めて建てられ、島へ訪れる人をやさしい瞳で迎えてくれます。

二十四の瞳映画村 →P.09



三重の塔が目印の西光寺

# Trip Keyword 02 観光名所 Spot

小豆島旅の第一歩！  
気軽に楽しい  
まちなかの観光スポット

世界一の狭さ！



## 土洲海峡

土庄町 本町

小豆島でちょっと変わった世界一を誇るのが土庄町の中心に横たわる土洲海峡。幅は最少9.93mで、ギネスブックから世界一狭い海峡として認定されています。狭いとはいえ立派な海峡。土庄町役場では、ここを渡った記念に世界一狭い海峡横断証明書(1枚100円)を発行しています。

ひきた  
葺田パヴィリオン / 西沢立衛

小豆島町 福田

体育館と隣接する神社境内にある作品です。  
カーブした2枚の鋼板によってつくられています。  
鋼板のあいだに生まれた空間が客席でもあり、  
境内へとつながる子どもの遊び場でもあります。



スター・アンガー / ヤノベケンジ

小豆島町 坂手港

港の灯台跡にある巨大な立体作品。さんぜんと光り  
輝く球体に水の神様である龍が鎮座しています。  
設置以来、坂手港のシンボル・モニュメントとなっ  
ており、日没後から23:30頃までライトアップを実施さ  
れています。



かんかけい  
空の玉 / 寒霞溪 / 青木野枝

小豆島町 寒霞溪

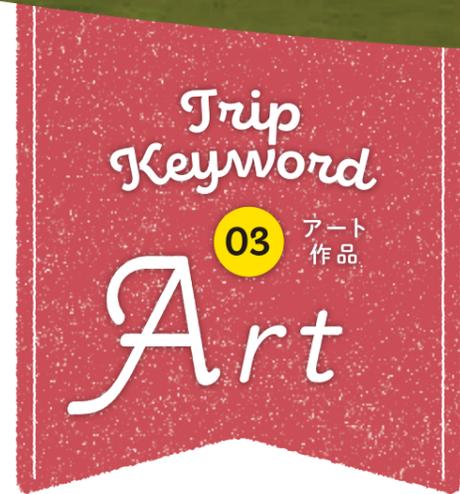
鉄の球体のなかに入って雄大な自然を味わえます。  
大渓谷と瀬戸内海を一望できる寒霞溪に直径約4m  
の鉄の球体の見晴台。鉄は、時間の経過により錆色  
に変わり、周囲に溶け込んでいきます。



はじまりの刻 / 三宅之功

土庄町 屋形崎

「いまははじまりのとき。」  
高さ3.9m、幅2.3mの陶でできた作品で  
す。卵には草が生えて命を宿しています。



太陽の贈り物 / チェ・ジョンファ

土庄町 土庄港

オリーブをモチーフにした作品。今では土庄港のシン  
ボルとなっています。アーティストのチェ・ジョン  
ファと島の子どもたちによる海へのメッセージが、オ  
リーブの葉一枚一枚に込められています。

小豆島で  
生まれた  
新しい景色

「瀬戸内国際芸術祭作品」

瀬戸内海の島々で開催された  
瀬戸内国際芸術祭により、小  
豆島にたくさんの芸術作品が  
生まれました。これらのアー  
トは小豆島の文化や生活に溶  
け込み、島独自の風景を活か  
し、そこでき表現できない  
作品を展開することで新しい  
価値を生み出しています。



### 中山千枚田

小豆島町 中山

香川県内で唯一日本の棚田百選に選定されていて、山股に沿う8.8haの丘陵地に大小約800枚の田んぼが折り重なり、標高250mから150mにかけて湯船山から見事な曲線美を描いています。また、名水百選にも選ばれている湯船山からの湯船の水で美味しいお米が育つと云われています。



マフティビティで穏やかな波に揺られるのも島旅の醍醐味！

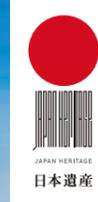
本州と四国に挟まれた温暖な気候の瀬戸内海。360度海に囲まれた小豆島でシーカヤックやSUPを楽しみませんか。小部SUPベースキャンプ、道の駅小豆島ふるさと村、その他小豆島の体験施設ではインストラクターが丁寧に教えますので、女性や初心者でも安心です。



カヤック・SUP

### 寒霞渓

小豆島町 神懸通



瀬戸内海国立公園を代表する寒霞渓は、日本三大渓谷美の一つに数えられています。秋の紅葉をはじめ、四季折々の景観と約1,300万年前の火山活動によって形成された奇岩怪岩のコントラストが美しく、小豆島が世界に誇る景勝地です。渓谷の中を進む寒霞渓ロープウェイからは、渓谷美と瀬戸内の多島美を一度に堪能することができます。



### 銚子溪 お猿の国

土庄町 肥土山



美しい原高原から寒霞渓へと通じるスカイラインの入口にあたる銚子溪は、寒霞渓と並び称される小豆島を代表する景勝地です。300匹余りの野生の猿が住む「お猿の国」は訪れるお客様の歓声と笑いで渦巻いています。春はベビーラッシュ、夏は池で水あそび、秋は発情期で真っ赤な顔、冬は身を寄せ合って猿だんごになる姿など、一年中楽しめます。

Trip Keyword

04 絶景スポット

View

癒しの景色 島の大自然

### 屋形崎夕陽の丘展望台

土庄町 屋形崎

瀬戸内海を一望できる屋形崎夕陽の丘展望台は、小豆島の中でも心和ませる有数の夕陽スポットです。展望台には家族や友人とくつろげるベンチがあります。太陽が沈む頃、瀬戸内海の島々と穏やかな波、本州岡山方面の稜線が朱く染まる景色をお楽しみください。



朝日・夕陽 etc.



かさねいわ

# 重岩

土庄町 小瀬

どのようにして重ねたのか…と思わず見入ってしまう大きな岩。落ちそうなのに落ちない不思議な岩は、新しいパワースポットとして注目されています。新鮮な空気を感じながら深呼吸。どこまでも広がる穏やかな瀬戸内海と青々と澄み切った空の中で、心も身体もリフレッシュできます。



Trip Keyword

06 パワースポット

# Power Spot

島の神秘に  
身も心も  
リフレッシュ

## 小豆島八十八ヶ所めぐり

小豆島町・土庄町

弘法大師空海が山野を巡り、修行した場所が基盤になっている小豆島の霊場は1200年以上の歴史があります。特徴は海のすぐ近くや岩場などにある山岳寺院。険しい山道を苦勞して登った先には、はっとするような美しい景色が広がります。歩き遍路でゆっくりと、また車で気軽にめぐることもおすすめです。

毎年、初大師の1月21日には、春の霊場めぐりの始まりを告げる島開き法要が行われ、一年間のお遍路さんの道中の安全が祈願されます。

● - 山岳霊場は日本遺産構成文化財です。



島開き法要



小豆島霊場 第2番 碁石山



小豆島霊場 第18番 石門洞

## 宝生院のシンパク

一国指定特別天然記念物 土庄町 北山

日本最大の真柏(シンパク)は小豆島 霊場第54番 宝生院の境内にあります。根元の周囲は20.9m、樹高約16.9m。地上1mほどのところで三方に分かれて支幹を出し、樹勢も旺盛で壮観です。本幹の根元の一部は朽ちて空洞になっていますが、それが却って神秘的な雰囲気をかもし出しています。応神天皇のお手植えによるものと伝えられ、樹齢は1,600年以上と推定される老巨樹です。



Trip Keyword

05 タイムスリップ

# Time Slip

懐かしいあの頃や 悠久の時へ  
思いを馳せよう



## 二十四の瞳映画村

小豆島町 田浦

おなご先生と十二人の子供たちの心あたたまる交流を描いた小説 二十四の瞳。その映画製作のためのロケセットが当時のおもかげを残したまま保存されています。教室の中は、まるで小説の時代へタイムスリップしたよう。「二十四の瞳映画村」では、昭和初期のまち並みを再現した村内に壺井栄文学館や邦画ギャラリー等があり、一日たっぷり楽しめます。

## 大坂城石垣石丁場跡(小豆島石丁場跡)

### 天狗岩丁場 一 国指定史跡

小豆島町 岩谷



島の東海岸、岩谷地区にある大坂城石垣石丁場跡は、大坂城再建のために黒田家が開いたとされ、石切りの歴史を伝える丁場跡として国史跡に指定されています。現存している丁場跡は6カ所。中でも天狗岩丁場には、高さ17m、推定重量1,700tにもなる巨石「大天狗岩」のほか、総数1,600個を超える石が残されており、当時の石工の技術を目の当たりにできる貴重な場所です。



## 唐櫃岡の清水共同用水場

土庄町 豊島



豊島唐櫃岡地区の檀山の麓に昭和4年に築造された生活用の水場です。花崗岩を布積みと呼ばれる工法でひな段状に積み上げ壁面が作られています。山からの湧水を上部の貯水槽から三連小水槽、大水槽に流す仕組みとなっており、各水槽に異なる用途が充てられています。往時からの生活環境に石が大きく使用されていたことを示す貴重な建造物です。

## 道の駅・みなとオアシス

### 大坂城残石記念公園

土庄町 小海



今から約400年前、徳川幕府の大坂城修築の際、石垣石の産出を行った場所です。小豆島では、大坂城の石垣になるために切り出されながら石垣になれなかった石を「残念石」と呼んでいます。大坂城残石記念公園は、残された巨石の保存と活用を図るために整備された公園です。今では貴重な当時の石の搬出に係る道具、一等三角点などが展示されており、小豆島の石文化・石産業を今に伝えています。





## ごま油

ごま油は、小豆島が全国トップシェアを占めていることをご存じでしょうか。豊かな自然に育まれた小豆島で「ごま」にこだわり、伝統の味を守りつつ国内、海外にごま、ごま油製品を食卓に届けています。揚げ物や炒めもの、サラダなど、多彩に味わえる小豆島自慢の名産です。



オリーブの情報は

→P.02

Trip Keyword 07 Local Food 島の名産品

オリーブの他にもたくさん！  
島には“おいしい”がいっぱい。

## みかん・スイートスプリング



瀬戸内の暖かな気候風土に育まれた温州みかんは、酸味と甘味がバランスよく、味が濃いのが自慢です。また、中晩柑類のスイートスプリングは、温州みかんと八朔の交配品種ですっきりとした甘い味が特徴です。他にもデコポン・はるみといった新品種も栽培されています。

## いちご

香川県オリジナルのいちご高設養液システム「らくちん栽培」で生産された小豆島の女峰いちごは、甘みと酸味のバランスが良く、11月中旬から6月下旬まで出荷されています。関西市場を中心に出荷され、地元ではJA産直市場で販売されています。是非御賞味ください。



## 手延べ素麺

小麦を石うすでひいて粉を作り、塩と水を混ぜ合わせて細く、細く延ばしていく…。そんな素麺づくりが小豆島ではじまったのは今から約400年前の昔。その独特の味わいは多くの人々を魅了し、今では全国三大産地の一つに数えられるようになりました。素麺づくりに適した雨が少なく乾燥した空気と美味しい水と受け継がれてきた職人の技が、小豆島素麺ならではのまろやかでコシのある美味しさを育んでいます。



## 小豆島オリーブ牛

循環型農畜産業を取り入れ、肥育農家で開発した小豆島発祥のブランド牛。特産のオリーブの搾り果実で飼料を作り、そのオリーブ飼料で黒毛和牛を肥育しています。初出荷は平成22年。肉質がやわらかで、ヘルシーな和牛として注目され、大きな広がりを見せています。

## 醤油

日本料理はもちろん、広く料理に使われる調味料の醤油は特産品のひとつです。恵まれた気候風土から生まれた小豆島の醤油は400年の伝統を誇ります。先代・先々代から長く受け継がれる木桶で熟成された醤油は蔵によって味が違うのも魅力。蔵の個性が光ります。工場や蔵の見学ができる場所もあり、歴史や作り方を学ぶこともできます。また、醤油を搾る前のものをろみといいますが、これもまた美味しい島の味になっています。



## 小豆島島鱧

しまはも

小豆島近海で漁獲されていること。300g以上2kg未満のサイズであること。曳網時間が1時間程度であること。漁獲後に蓄養管理したものをこの4つのブランド基準を満たした鱧だけが小豆島島鱧と名乗ることができます。小豆島近海で採れる鱧はエビをたくさん食べるので身が甘いと言われており、温度管理された水槽で1日以上蓄養された島鱧は、品質を落とすことなく活きのいい状態で出荷されます。サイズを定めるのは未来へ向けた資源の保護・確保が理由。ブランド名は品質と資源の保護・確保、そして海底の環境を守ることにつながる将来を見据えた誓いなのです。



## 小豆島天領真牡蠣

しょうどしまてんりょうまがき

香川初となる1年中食べられる真牡蠣として、2022年に養殖がスタートしました。江戸時代の小豆島が天領(幕府の直轄地)でさまざまな海産物を幕府に献上していたことが名前の由来になっています。殻が深く丸くなっていて、身はぷっくりと大きく、味は濃厚でクリーミー。三倍体という産卵をほとんど行わない真牡蠣で1年を通して身が痩せにくいため、夏でも美味しく食べられるのが特徴です。近年の海の環境変化へ対応した先進技術で、年間を通じて販売が可能な小豆島天領真牡蠣は、次世代の小豆島の漁業を支える新たな産業としても期待されています。



## 佃煮

戦後、食糧難の時代に保存食として工夫を凝らして作り出されたのが佃煮です。原料には、昆布、瀬戸内海で獲れたのり、わかめ、魚貝などの食材が使われています。小豆島の醤油を使った佃煮は、どれも深い味わいで、一度食べたらきっと忘れられない味となるでしょう。



## 島の“宝”を未来へ繋ぐ 持続可能な取組みで“選ばれる観光地”へ

小豆島は、美しい自然、独自の伝統、受け継がれてきた産業など、人々を魅了し続ける多種多様な地域資源に恵まれた島です。これらの資源を未来へ繋ぎ、いつまでも観光の島として輝きつづけるために持続可能な観光地づくりに取り組んでいます。

### 広がる“サステナブル”の輪

小豆島でのSDGsや持続可能な観光を意識した取組みをご紹介します

**100年後も「オリーブの島」であるために**

日本オリーブ発祥の地の小豆島。小学校では新入生一人一人にオリーブの木が贈られ、給食では地元産オリーブオイルが提供される。オイルを搾った後の実はオリーブ牛の飼料に、選定した枝葉は堆肥化させ、新たなオリーブの育成に使う。“オリーブをもっと身近にもっと大切に”するための取組みが行われています。



**観光の力で伝統文化を守る**

日本の原風景が残る中山・肥土山地区。中山地区では人口減少により、300年以上続いてきた農村歌舞伎や虫送りといった伝統行事は存続の危機にありましたが、映画のロケ地になったことや瀬戸内国際芸術祭を通して多くの観光客が訪れ、地域の魅力が再発見されました。




**地元高校生発案！ 観光イベント×エコステーション**

地元の人にも観光客にもエコを意識してもらうため、「10種分別エコステーション」を高校生が発案。ゴミの量はもちろん、後片付けの時間の削減にも繋がる取組みです。



**マリナクティビティ×SDGs**

島と言えば海！ SUPやカヤックをしながらゴミ拾い。砂浜でシーグラスを拾ってアートやアクササリーに。小豆島では様々な海のレジャーを楽しみながらSDGsを学ぶ体験もできます。




**エコモビリティで巡る小豆島**

島内での移動は快適かつエコに！ 港周辺や観光施設にて、電動モビリティのレンタルや、電気自動車充電設備の整備を行っています。

2人乗り電動自動車「豆モビ」      電動3輪バイク「GOGO!」




### 持続可能な観光って？

地域資源を生かして旅行者を受け入れ、地域経済を發展させると同時に自然環境や伝統文化を守るという「そこに暮らす人々」の未来にも十分に配慮した観光のカタチです。



各地区太鼓まつり Calendar

10月	
11日	葦田八幡神社 (小豆島町福田)
13日	伊喜末八幡神社(土庄町伊喜末)
14日	土庄八幡神社 (土庄町大木戸)
15日	富丘八幡神社 (土庄町測崎)
15日	内海八幡神社 (小豆島町馬木)
16日	池田亀山八幡宮(小豆島町池田)
18日	家浦八幡神社 (土庄町豊島)
21日	唐櫃八幡神社 (土庄町豊島)

### 秋まつり

小豆島・豊島の秋まつりは勇壮な太鼓祭。赤い布団太鼓台や屋根に人形や動物を載せた飾り太鼓、法被などの衣装にもそれぞれ独自のものが見られます。10月11日から順次に8か所の八幡神社で行われるので、地区ごとに見比べてみるのも楽しいでしょう。

### 虫送り -肥土山・中山-

田植えを終えた半夏生の日に火手(ほて)を田んぼにわざと、虫よけと豊作を願いながら列になって歩いていく、江戸時代から続く幻想的な伝統行事です。中山地区では半夏生の後の土曜日に行われるようになりました。夏の夕方、だんだんと薄暗くなる田んぼのあぜ道にゆらゆらと揺れる炎が動いている様子は自然の生命を感じます。



### 小豆島農村歌舞伎 -肥土山・中山-

昔は芝居の島と呼ばれたこともあるほど地芝居が盛んで、現在でも年に一度農村歌舞伎が奉納されています。役者、着付け、音楽等をすべて地元の人が行っていることが大きな特徴です。小豆島農村歌舞伎は国の重要無形民俗文化財、農村歌舞伎を上演する肥土山の舞台と中山の舞台は、国の重要有形民俗文化財に指定されています。 ● -舞台は日本遺産構成文化財です。

四季折々 楽しめる！ 島のイベント

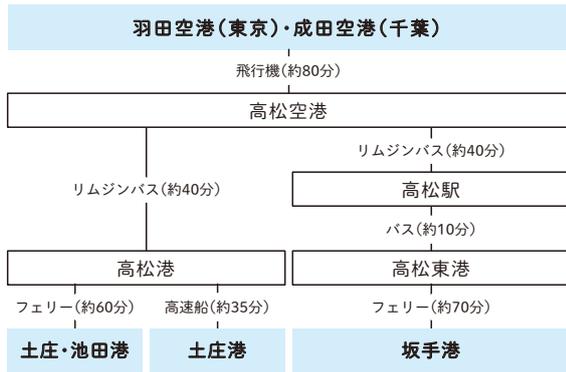
### 夏まつり

小豆島の夏と言えば、海上から打ち上がる大迫力の花火。頭上に降り注ぐような近さと、体が振動するほどの響きが島の花火大会の醍醐味です。土庄町では毎年8月第一日曜日、小豆島町では8月15日に開催します。

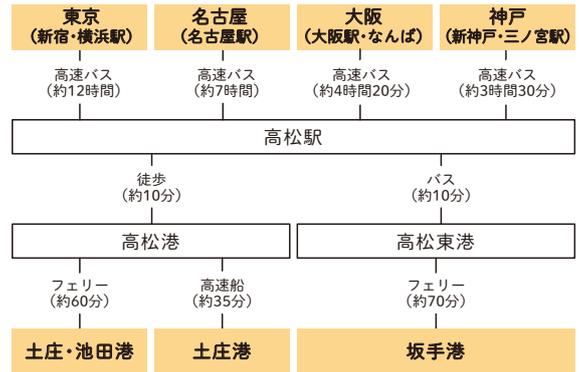




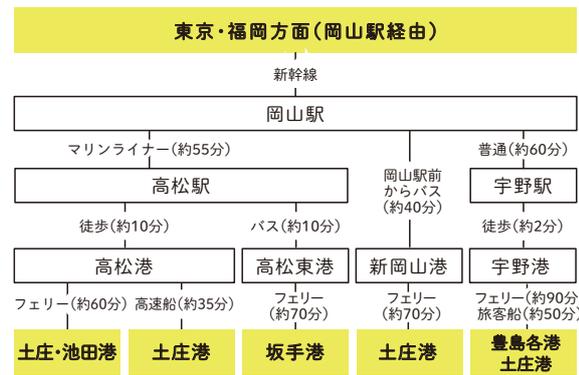
## 飛行機



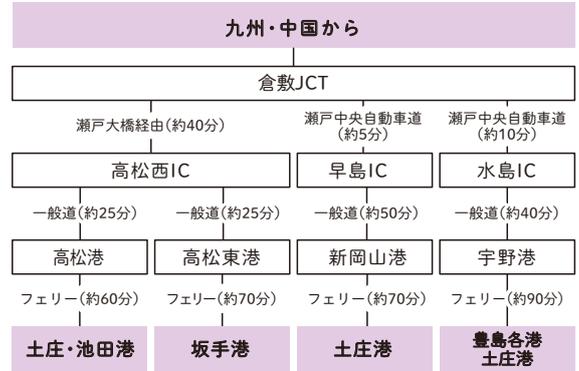
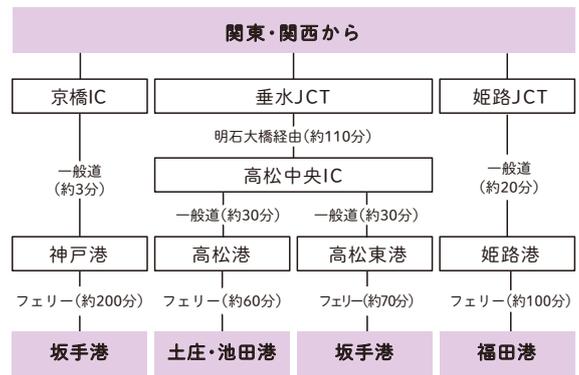
## 高速バス



## 新幹線・電車



## 車



## 小豆島町商工観光課・土庄町商工観光課

問合せ:(一社)小豆島観光協会 香川県小豆郡小豆島町西村甲1896-1

TEL 0879(82)1775 FAX 0879(82)1801

URL <https://shodoshima.or.jp/> E-MAIL [pr@shodoshima.or.jp](mailto:pr@shodoshima.or.jp)

